

(2) 福祉体験学習について

1. ねらい ○福祉体験を通して、お年寄りや障害のある人に対する理解を深め、ともに助け合っていこうとする心情や、自分にできることを進んでやろうとする態度を育てる。
2. 対象学年 1～6 学年
3. 内容【1 年生】「ズーラシア・シーパ」遠足「むかしあそび体験」(生活科)
【2 年生】「ズーラシア・シーパ」遠足「やさいをそだてよう」「大きくなったね」(生活科)
【3 年生】「万寿の森」「青葉の丘」「緑の郷」「シルバープラザ」のお年寄りとの交流
【4 年生】視覚障害者や聴力障害者の理解や交流
(例) 点字・アイマスク・白杖体験・手話
【5 年生】肢体不自由者の理解や交流
(例) 車椅子体験
【6 年生】ボランティア体験
(例) 介護体験・保育園児の世話・地域清掃
4. 実施方法
 - ・各学年の「生活科」「総合的な学習の時間」の教育課程に福祉体験を位置づけ、その学習の中で体験学習を行う。
 - ・実施時期や具体的な内容については、各学年で計画し、校長の承認を得る。全職員に周知する。
 - ・実施後に、学年ノートに記録し、次年度の学年に引き継ぐ。
 - ・ボランティア団体等への協力依頼にあたり、必要に応じて福祉ボランティア委員会が協力する。
5. 近隣の福祉施設・団体
 - 【万寿の森】
 - 【青葉の丘】
 - 【青葉区社会福祉協議会】
 - 【すすき野地区社協】
 - 【すすき野サービスステーション】
6. 用具
 - ・アイマスク（視覚を遮ったゴーグル） 33 個
 - ・点字器 33 個
 - ・白杖 6 本
 - ・車椅子・・・社協や区役所から借りる。※購入希望の品があれば、青葉区福祉教育推進助成金で購入する。

お年寄りとのふれあい活動について

1. 実施内容 ふれあい給食
2. ねらい ○地域の方と給食を食べたり、遊んだりすることを通して、交流を深めるふれあいを体験する。
○地域の方とのこれからの交流活動や学習のきっかけとする。
3. 招待する方 ○寿光会（北自治会の方中心） ○すすき野会（すすき野団地の方中心）
○ハッピークラブ ○学援隊 ○民生委員 ○自治会 等